

第 11 次愛別町振興計画策定のための
町民アンケート調査結果報告書

【概要版】

平成 3 1 年 3 月

愛 別 町

目 次

I	調査の概要及び回答者の属性	1
1	調査の概要	1
	(1) 調査目的	1
	(2) 調査対象及び調査方法、回収結果	1
	(3) 本報告書の留意事項	1
2	回答者の属性	2
	(1) 性別	2
	(2) 年齢	2
	(3) 職業	2
	(4) 居住年数	2
	(5) 居住地区	3
II	調査結果	4
1	町への愛着と定住意向などについて	4
	(1) 町への愛着度	4
	(2) 町の魅力	4
	(3) 今後の定住意向	5
	(4) 住みたくない主な理由	5
2	町の現状と今後の取り組みについて	6
	(1) 町の各環境に関する満足度	6
	(2) 町の各環境に関する重要度	7
	(3) 今後のまちづくりの特色	8
3	日頃の行動などについて	9
	(1) 日頃の行動	9
4	参画・協働のまちづくりについて	9
	(1) 町民参画・協働のまちづくりを進めるために必要なこと	9
5	人口減少対策について	10
	(1) 町内及び近隣での雇用創出のために力を入れるべきこと	10
	(2) 町外からの移住促進のために力を入れるべきこと	10
	(3) 町民の結婚・出産・子育てのため力を入れるべきこと	11
	(4) 住み続けたい生活環境整備のため力を入れるべきこと	11

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、第11次愛別町振興計画（平成32年度～平成41年度）の策定にあたって、町への愛着度や今後の定住意向をはじめ、町の各環境に関する満足度と重要度、今後のまちづくりの特色など、町民の意識構造の実態を把握し、計画づくりの基礎資料を得るために実施したものです。

(2) 調査対象及び調査方法、回収結果

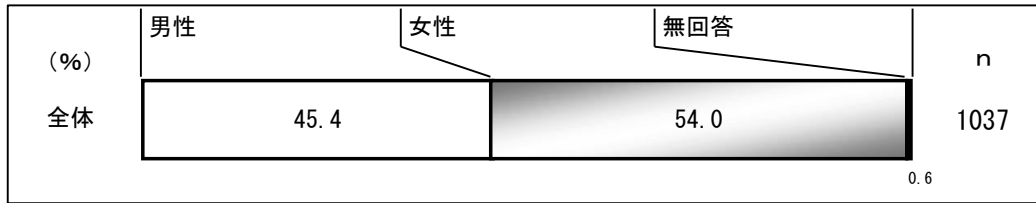
項目	内容
調査対象	18歳以上の町民（全員）
配布数	2,460
調査方法	自治会長・区長による配布、返信用封筒による回収。
調査時期	平成30年9月
調査地域	町内全域。ただし、分析上は地域的傾向を把握するため、以下の7地区に区分した。 1. 金富地区 2. 厚生・伏古地区 3. 協和地区 4. 本町・北町・南町地区 5. 愛別・東町地区 6. 豊里・中央地区 7. 愛山・愛山町地区
有効回収数	1,037
有効回収率	42.2%

(3) 本報告書の留意事項

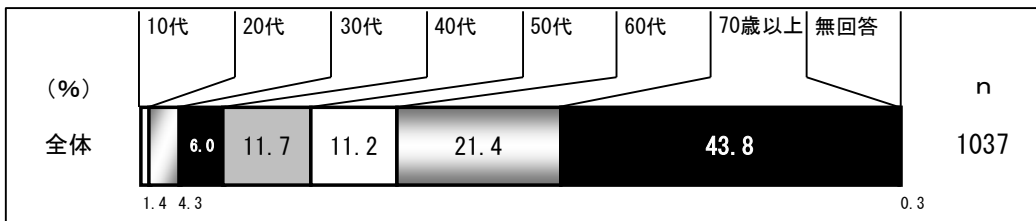
- ① 比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100%を上下する場合があります。
- ② 基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- ③ 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問です。従って、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。

2 回答者の属性

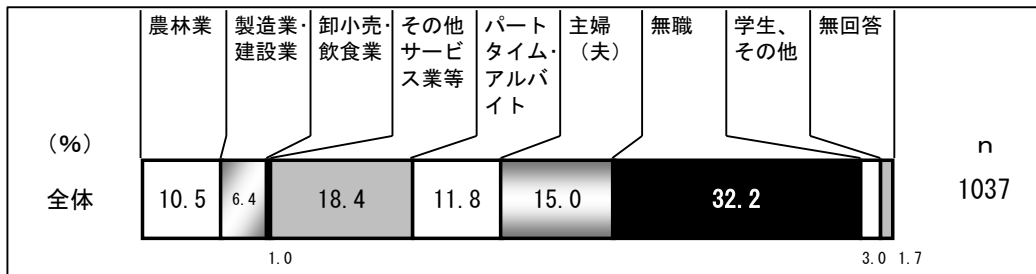
(1) 性別



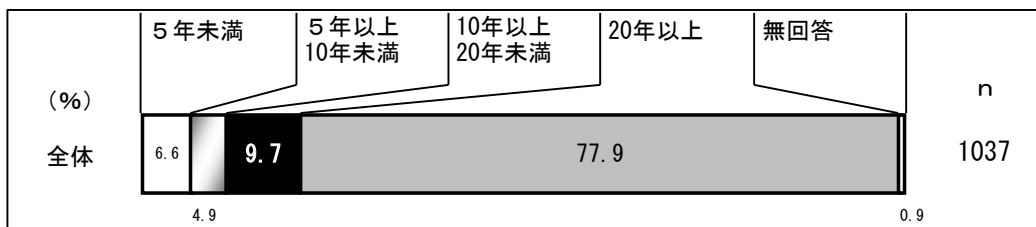
(2) 年齢



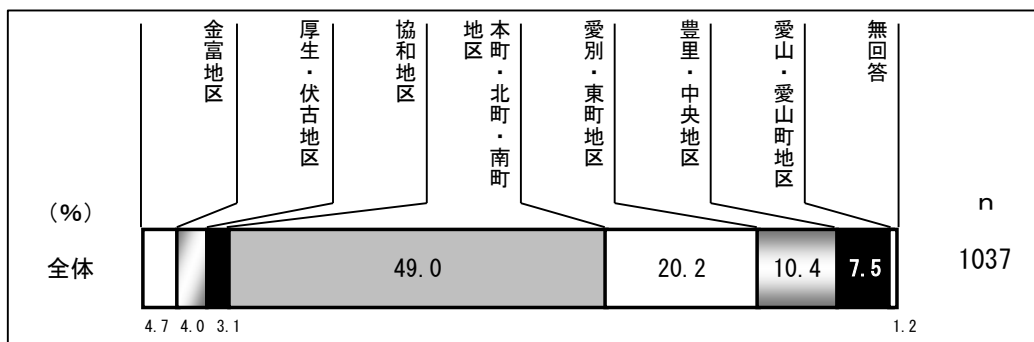
(3) 職業



(4) 居住年数



(5) 居住地区



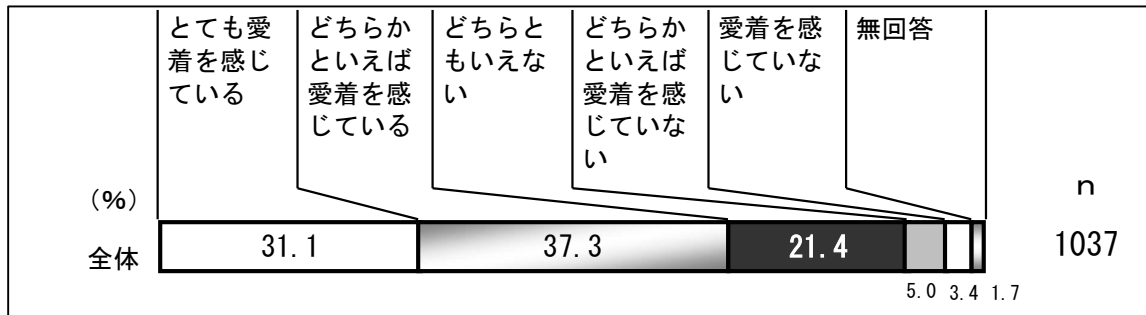
Ⅱ 調査結果

1 町への愛着と定住意向などについて

(1) 町への愛着度

問2 あなたは、愛別町に対して「自分のまち」としての愛着をどのように感じていますか。

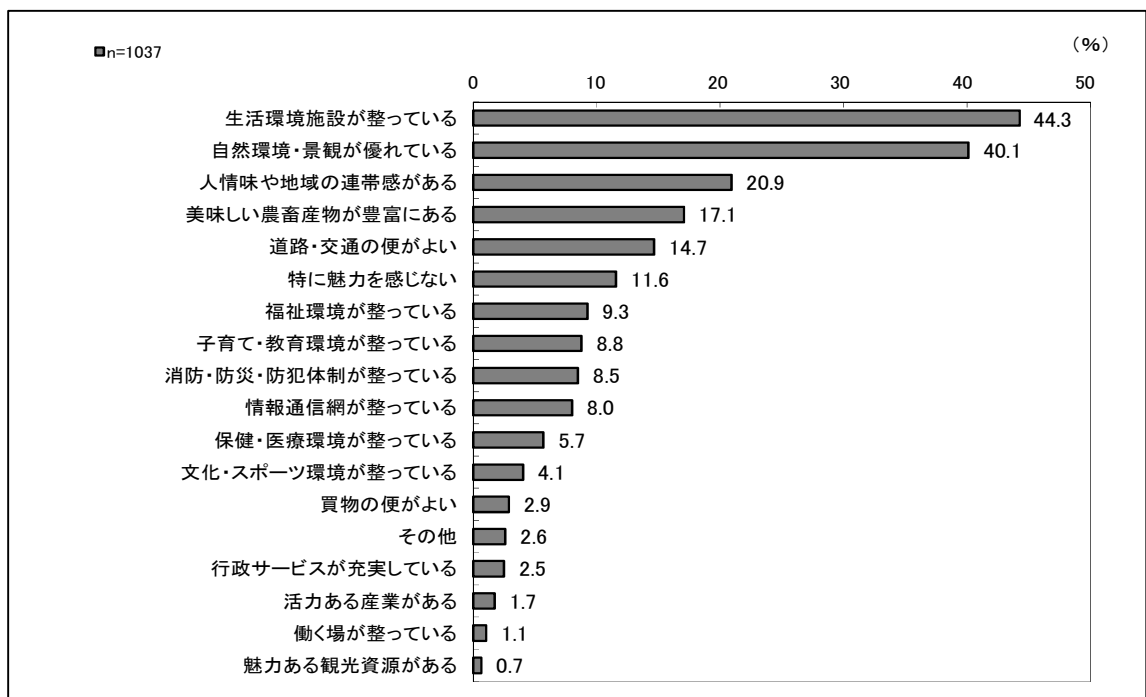
● “愛着を感じている”が68.4%、“愛着を感じていない”が8.4%。



(2) 町の魅力

問3 あなたは、愛別町はどのようなところが魅力だと思いますか。【複数回答】

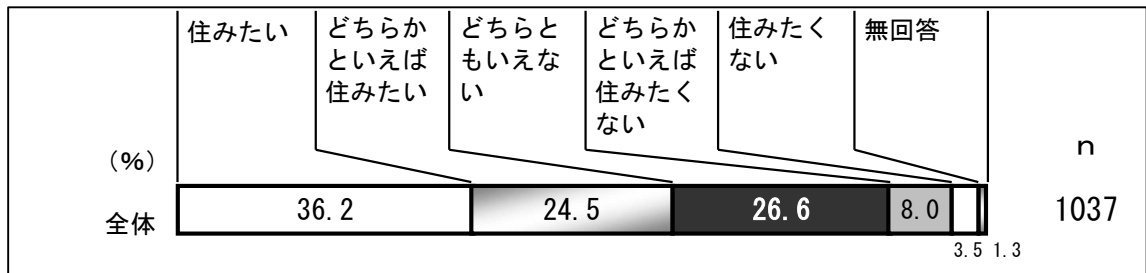
● 「生活環境施設が整っている」と「自然環境・景観が優れている」が他を大きく引き離して第1・2位を占める。



(3) 今後の定住意向

問4 あなたは、これからも愛別町に住みたいと思いますか。

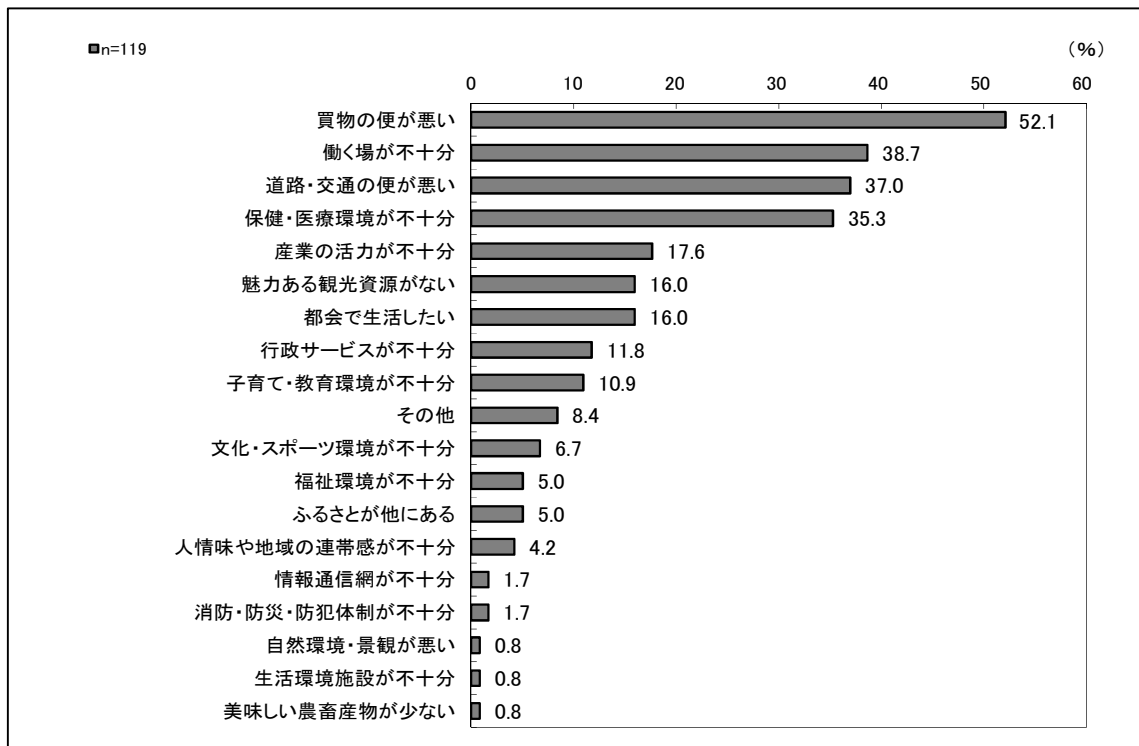
● “住みたい”が60.7%、“住みたくない”が11.5%。



(4) 住みたくない主な理由

問4付問 住みたくない主な理由は何ですか。
(問4で“住みたくない”と回答した人のみ)【複数回答】

● 「買物の便が悪い」が他を引き離して第1位。次いで「働く場が不十分」、「道路・交通の便が悪い」、「保健・医療環境が不十分」の順。



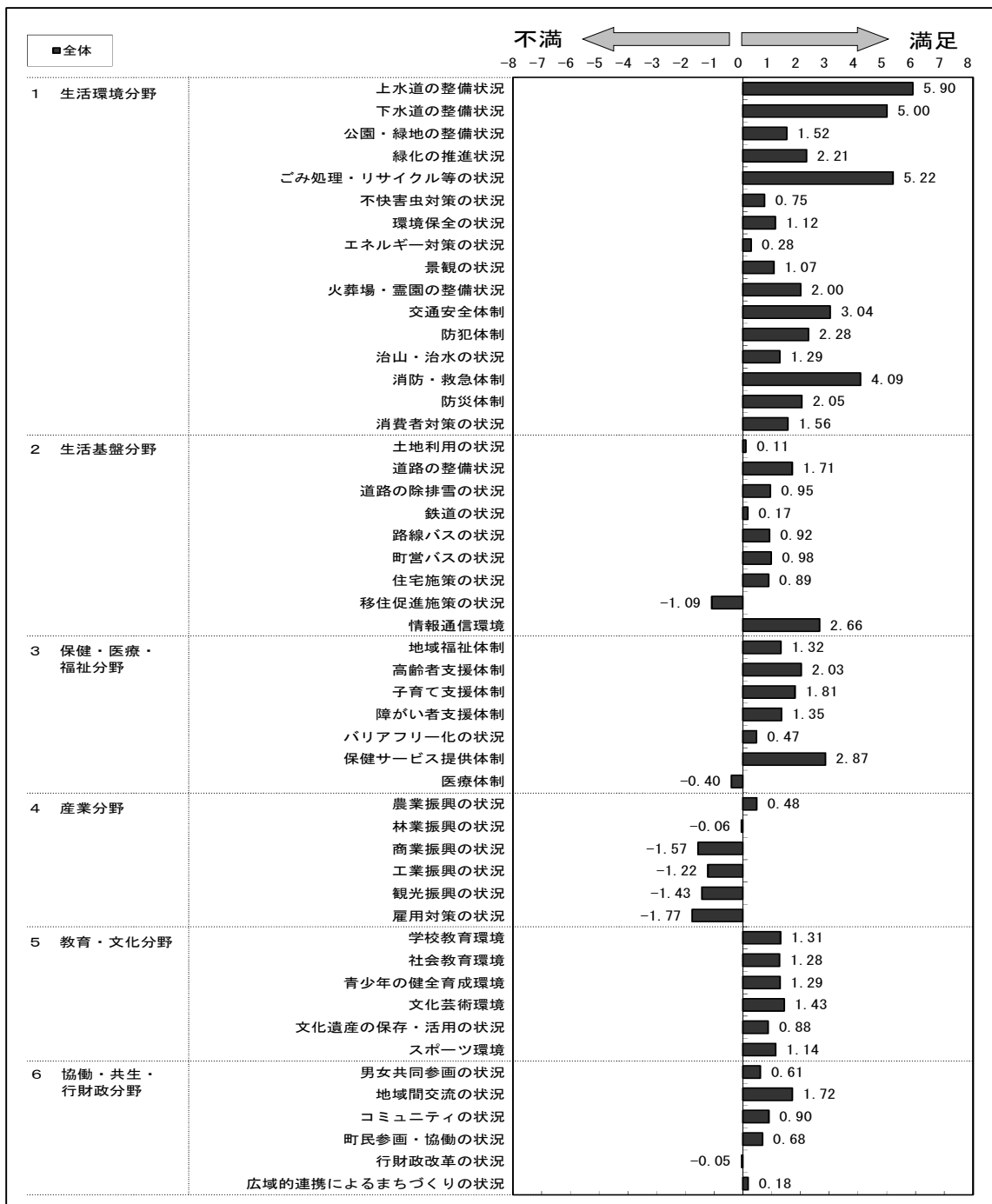
2 町の現状と今後の取り組みについて

(1) 町の各環境に関する満足度

問5 愛別町では、これまで第10次愛別町振興計画（平成27年度～平成31年度）に基づき、各分野にわたる様々な施策を進めてきました。以下の項目についての現状の満足度と、今後の重要度をおたずねします。

(1) あなたは、以下の項目について、現在どの程度満足していますか。

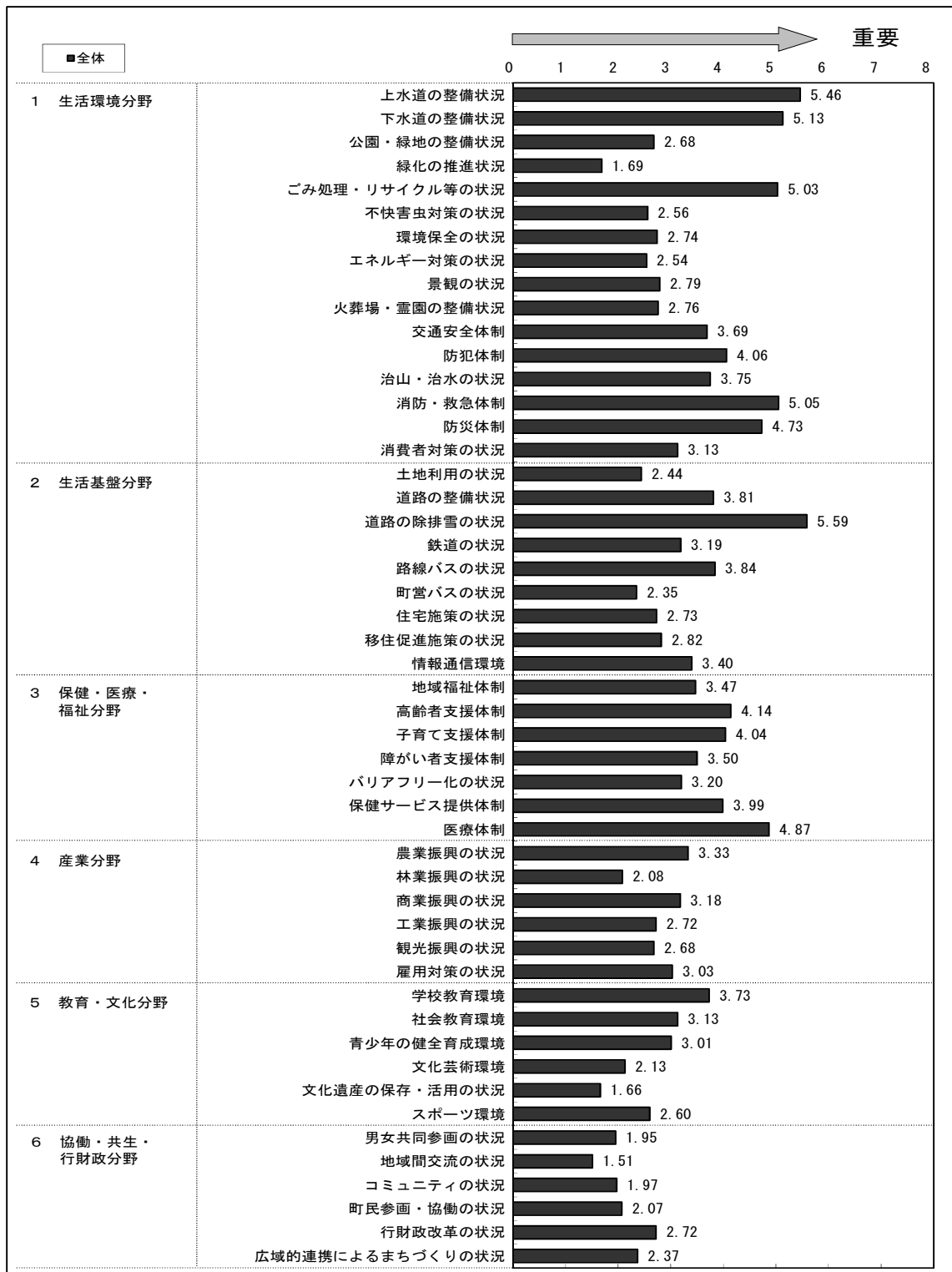
- 満足度が最も高い項目は「上水道の整備状況」。次いで「ごみ処理・リサイクル等の状況」、「下水道の整備状況」の順。
- 満足度が最も低い項目は「雇用対策の状況」。次いで「商業振興の状況」、「観光振興の状況」の順。



(2) 町の各環境に関する重要度

問5 愛別町では、これまで第10次愛別町振興計画(平成27年度～平成31年度)に基づき、各分野にわたる様々な施策を進めてきました。以下の項目についての現状の満足度と、今後の重要度をおたずねします。
 (2) あなたは、以下の項目について、今後どの程度重視していますか。

● 重要度が最も高い項目は「道路の除排雪の状況」。次いで「上水道の整備状況」、「下水道の整備状況」、「消防・救急体制」、「ごみ処理・リサイクル等の状況」の順。

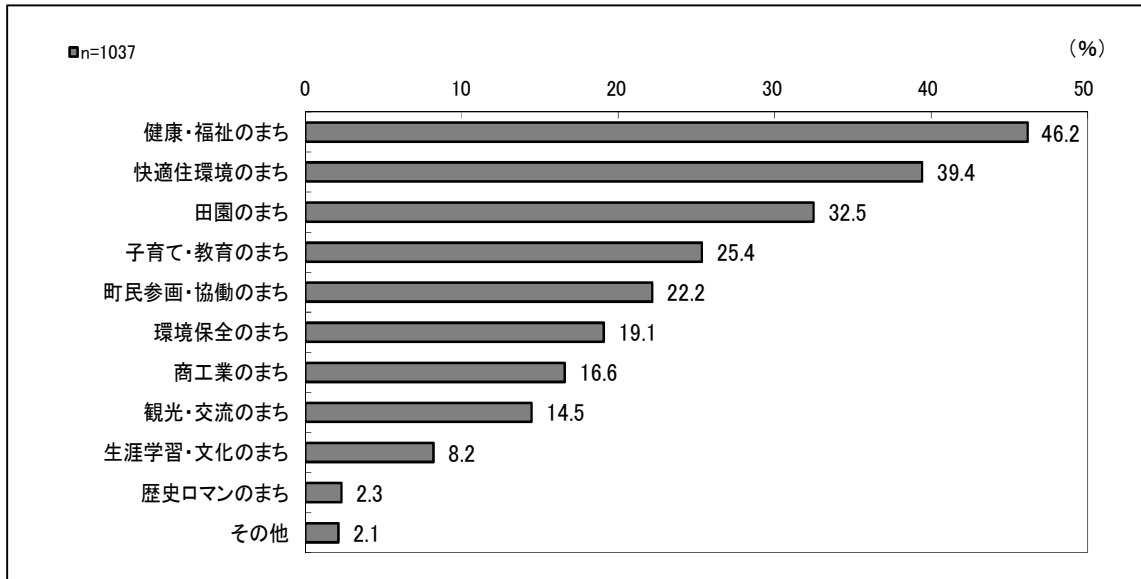


(3) 今後のまちづくりの特色

問6 あなたは、今後のまちづくりにおいて、愛別町をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。【複数回答】



● 「健康・福祉のまち」が第1位。次いで「快適住環境のまち」、「田園のまち」の順。



3 日頃の行動などについて

(1) 日頃の行動

問7① あなたの日頃の行動などについておたずねします。

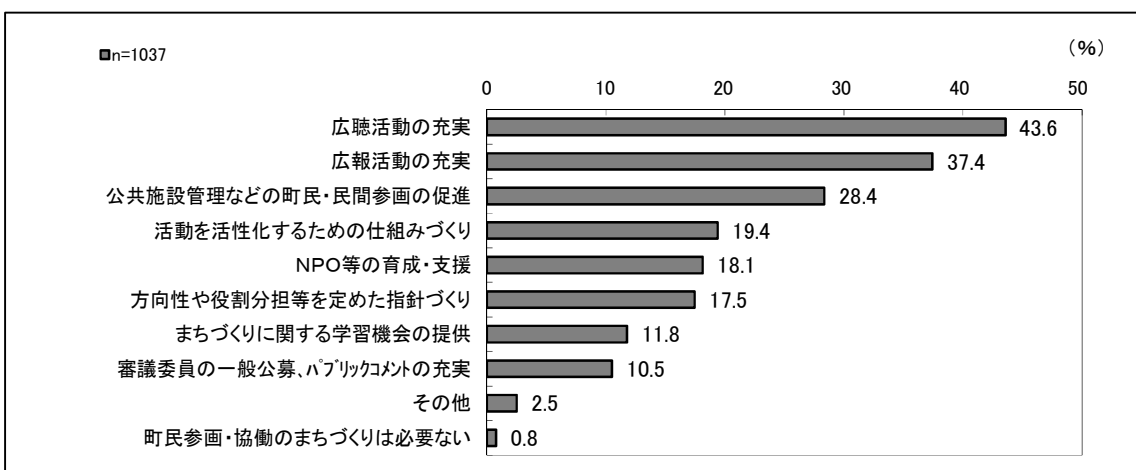
項目		割合
① 地元の公園の維持管理への参加	「している」率	34.8%
② 緑化活動	「している」率	41.0%
③ 3R運動	「している」率	70.1%
④ 環境に配慮した生活	「している」率	63.2%
⑤ 防犯活動・パトロール活動	「している」率	10.0%
⑥ 災害時の避難路・避難場所	「知っている」率	64.1%
⑦ 防火・防災訓練への参加	「した」率	21.7%
⑧ 地域福祉活動への参加	「している」率	24.8%
⑨ 健康増進のための取り組み	「している」率	65.7%
⑩ 町内の商店での買物	「している」率	78.2%
⑪ 町の講座や教室等を利用した生涯学習活動	「した」率	19.6%
⑫ 週1回以上のスポーツ活動	「している」率	30.5%
⑬ 広報あいべつ	“読んでいる”率	94.0%
⑭ 町のホームページ	“見ている”率	47.7%
⑮ スマートフォンの利用	「している」率	44.6%

4 参画・協働のまちづくりについて

(1) 町民参画・協働のまちづくりを進めるために必要なこと

問8 これからのまちづくりにおいては、より多くの町民の皆様が町政に参画し、行政と協力して課題解決や地域づくりを行う「町民参画・協働のまちづくり」が重要なテーマとなります。あなたは、この「町民参画・協働のまちづくり」を進めるために行政として必要なことはなんだと思いますか。

- 「広聴活動の充実」が第1位。次いで「広報活動の充実」、「公共施設管理などの町民・民間参画の促進」の順。



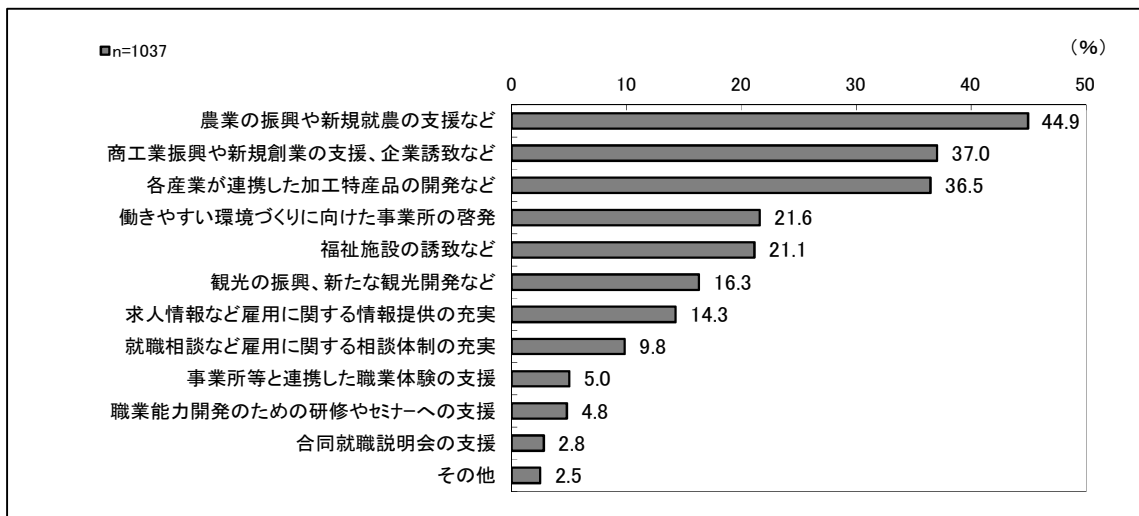
5 人口減少対策について

(1) 町内及び近隣での雇用創出のために力を入れるべきこと

※ 人口減少が進む中、全国各地で『地方創生』（人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力と魅力あふれる地方をつくり出すこと）に向けた取り組みが進められています。愛別町においても、平成27年度に「愛別町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、人口減少対策を総合的に進めています。

そこで、この戦略の4つの柱である、「雇用」・「移住」・「結婚・出産・子育て」・「住み続けたい生活環境」についておたずねします。
 問9 あなたは、町内及び近隣市町での「雇用」を創出するため、町としてどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

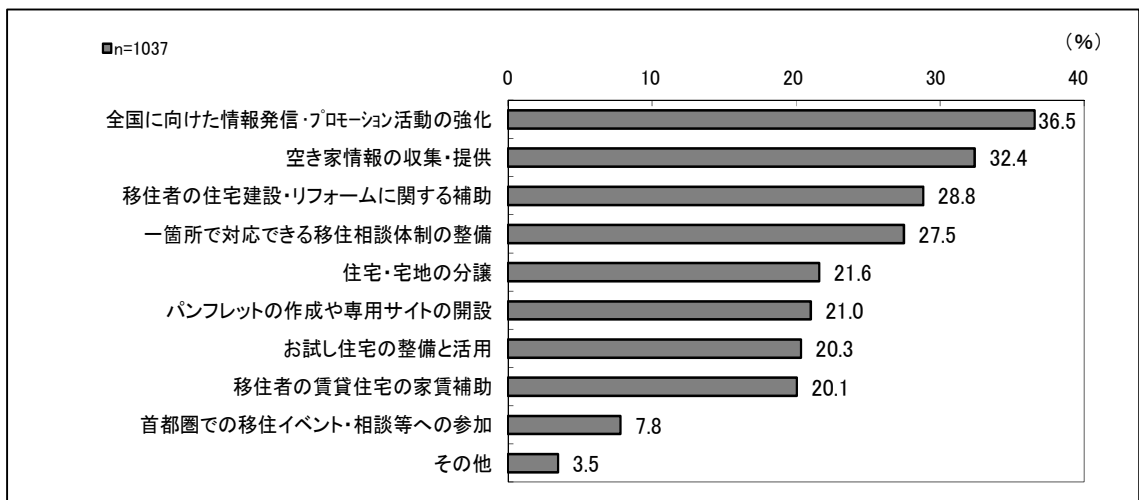
- 「農業の振興や新規就農の支援など」が第1位。次いで「商工業振興や新規創業の支援、企業誘致など」、「各産業が連携した加工特産品の開発など」の順。



(2) 町外からの移住促進のために力を入れるべきこと

問10 あなたは、町外から愛別町への「移住」を促進するため、町としてどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

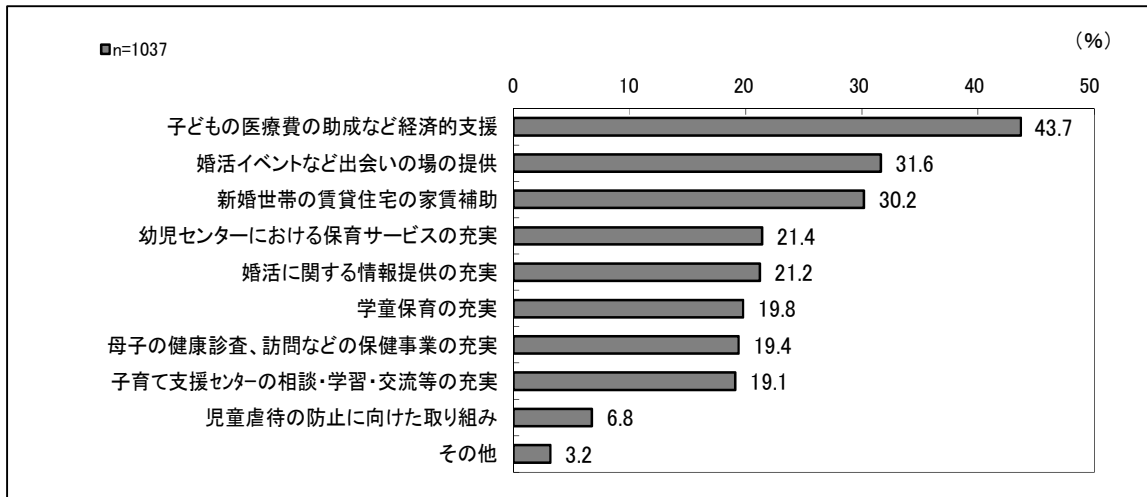
- 「全国に向けた情報発信・プロモーション活動の強化」が第1位。次いで「空き家情報の収集・提供」、「移住者の住宅建設・リフォームに関する補助」、「一箇所で対応できる移住相談体制の整備」の順。



(3) 町民の結婚・出産・子育てのため力を入れるべきこと

問 11 あなたは、町民の「結婚・出産・子育て」の希望をかなえるため、町としてどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

- 「子どもの医療費の助成など経済的支援」が第1位。次いで「婚活イベントなど出会いの場の提供」、「新婚世帯の賃貸住宅の家賃補助」の順。



(4) 住み続けたい生活環境整備のため力を入れるべきこと

問 12 あなたは、町民が「住み続けたい生活環境」を整備するため、町としてどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【複数回答】

- 「保健・医療体制の充実」が他を引き離して第1位。次いで「福祉体制の充実」、「移動しやすい公共交通体系の整備」、「学校教育・社会教育の充実」の順。

